

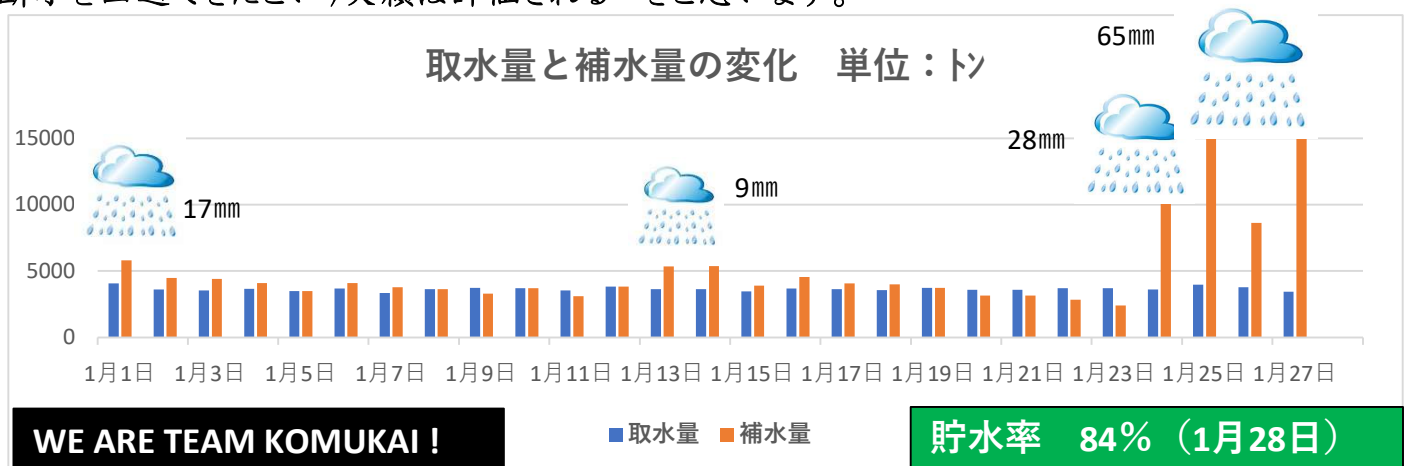
みんなで断水を回避する「TEAM KOMUKAI」の提案 ⑨

今回の教訓を明確にして次に備える工夫を！

大井自主防災 かわせみ

文責：事務局長 芳賀裕

1月27日夜に石井市長が今回の湯水対策の事実上の収束宣言を發しました。これは、節水と補水効果と数回の雨の恵みの結果です。毎日、約100トンの受水槽への給水、約500トンの注水タンク車による補水等のマンパワーと貝沢川・丸山川のポンプ移送は約1,300トンです。取水量は約3,500トンですので、26日からの65mmの雨の要素が大きい事を示しています。しかし、現状を丁寧に説明、対策を素早く展開・数値公表の結果として、断水を回避できたという実績は評価されるべきと思います。



以下が現段階での教訓かと考えます。

- ① 水源の二重化は重要で、コストを考慮した仕組みが必要
→ 周辺河川からのポンプアップでの補水が現実的であり、即時可能な体制を作る
- ② 災害に強い地域づくりには、各家庭での貯水を推進する
→ 日常的に使用できるもの、井戸等の活用も含め飲用とそれ以外の使用を考慮する（雨水利用も効果的）
- ③ 行政には、水道システムの老朽化対策を計画的に実施
→ 特に給水本管の漏水対策・入れ替えは短期・中期で臨む
- ④ BOSAIの視点からも見直しが必要
→ 地震発生時の長期の停電・断水と道路寸断等を想定して準備
→ 更に感染防止対策も含めると、**各家庭を基本に「顔の見える地域づくり」**が最も効果的

丸山地区では区長と民生委員との連携が一步前進しました。また、地域センタとのラインを通じての連絡網の構築が始まりました。他地区との横のつながりも少しずつですが広がりがつあります。今回の状況に応じた節水やBOSAI技術のアイデアも出てきました。**次に備えましょう！**

これまでの関係各位のご努力に深く感謝します。これをもってTEAM KOMUKAIの最終号とします。